科目ナンバリング	G-LAS15 80030 LB95		
授業科目名<英訳>	総合生存学（サスティナビリティ） Introduction to Advanced and Integrated Studies in Human Survivability (Sustainability)	担当者所属職名・氏名	総合生存学館 教授　齋藤　敬 総合生存学館 教授　IALNAZOV, Dimiter Savov 総合生存学館 教授　長山　浩章 総合生存学館 准教授　金村　宗 総合生存学館 特定教授 宇佐美　文理

群	大学院横断教育科目群	分野(分類)	複合領域系	使用言語	日本語及び英語
旧群		単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・前期	曜時限	木1	配当学年	大学院生	対象学生	全学向

（総合生存学館の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

[授業の概要・目的]

総合生存学とは「人類と社会の生存」を基軸に分野横断型のアプローチで社会課題の解決を目指す学問です。現代のグローバル社会は極めて複雑化しており，単独の学問だけでは様々な課題を解明して有効な解決策を提示することが困難となっています。総合生存学では、人類と地球社会の生存に関わる地球規模課題について、種々の学術分野を結びつけ、編み直し、駆使して複合的な社会課題の発掘・分析と定式化・構造化を行い、社会実装までの解決を目指します。
この科目では、サステナビリティに関する個別な課題について、まずは基礎的な知識から始め、その後具体的な問題提起、調査、分析、解決策の提示など、研究事例等を通じて分野横断的に解説していきます。また履修者に総合生存学的な総合知を習得させ、分野横断的な学術研究方法の理解を醸成させるため、分野横断型の研究テーマ設定を練習させます。

[到達目標]

・人類をとりまく地球規模課題に関する幅広い知識を得ると共に、分野横断型・文理融合型の学問に対する取り組み方や研究方法について理解する。
・研究事例を通じて総合生存学の枠組みを理解した上で、サステイビリティの分野におい学生各自の研究テーマをさらに大きい視点からみて、俯瞰的にとらえ直すこと（再定義すること）ができるようになる。

[授業計画と内容]

以下のスケジュールに従い、それぞれの分野を専門とする教員が講義を行います。授業中、積極的にディスカッションを取り入れます。なお、講義の進捗等によりスケジュールを変更する場合があります。
（1）総合知を考える‐科目の内容と進め方の説明【１週（メディア授業：同時双方向型）】担当：齋藤
（2）分野横断研究を考える【１週（メディア授業：同時双方向型）】担当：齋藤
（3） テーマA．経済からサステナビリティを考える【２週】担当：金村
（4） テーマB．国際情勢からサステナビリティを考える【２週】担当：IALNAZOV
（5） テーマC．経営戦略からサステナビリティを考える【２週】担当：長山
（6） テーマD．科学からサステナビリティを考える【３週】担当：齋藤
（7）グループに分かれサステナビリティに則った融合研究のテーマ設定　【１週（メディア授業：同時双方向型）】担当：金村
（8）学生プレゼンテーション【２週（メディア授業：同時双方向型）】担当：金村
（9）フィードバック【１週】担当：金村

全体コーディネーター：総合生存学館 准教授　金村　宗

総合生存学（サスティナビリティ）(2)へ続く↓↓↓

総合生存学（サスティナビリティ）(2)

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

授業内ディスカッションへの積極的な参加（30点）、サステナビリティに関する小課題（40点）、研究計画案のプレゼンテーション（30点）により、到達目標の達成度を総合的に評価します。

[教科書]

授業中に指示する

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

テキストや講義中に紹介する文献などを参考にしながら授業外学習を行い、講義内容の理解を深めてほしい。

[その他（オフィスアワー等）]

各授業担当教員との面談を希望する学生は、(1) 名前・学籍番号・所属、(2) 面談希望日時（第3希望まで）を書いて、電子メールで連絡してください。

[主要授業科目（学部・学科名）]